



Plusidea ベーシックメニュー

排水管改修工事

Q

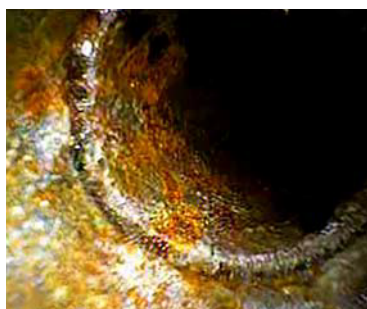
排水管って、
修繕が必要なの？



A

排水管にも寿命があります。
老化を放置しておくと、詰まりや漏水につながります。

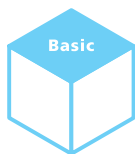
建物内にはり巡らされている排水管の耐用年数は
配管の材質により、30～40年程度。
人間の血管と同じように、老化によって
詰まったり、管内の内側が薄くなって穴があいたりします。
とくに台所や洗面、浴室の排水管は、食材の残りカスや
油脂類を多く流すため腐食が早く進みます。
漏水につながるケースもあるので、
劣化診断を行い適切な修繕を行うことが大切です。



〈抜管調査〉



〈内視鏡調査〉



排水管改修工事

建物内部に配されている排水管が漏水したら、大きなトラブルになります。

また、臭気が発生することも懸念されます。そうした事態に陥らないためにも、配管診断は大切です。

排水管の耐用年数は材質により、30～40年程度。抜管や内視鏡調査により

精密に劣化状況を確認することで、適切に修繕できます。

配管材の経年による不具合

白ガス管

老朽化が進むと内面に錆が発生し、外面(継手接続部)にも広がります。



管外面：錆の発生。
管頂部分に穴があき臭気が発生することがあります。



管外面：接続部ネジ欠損。
接続部から漏水につながる危険があります。



铸铁管

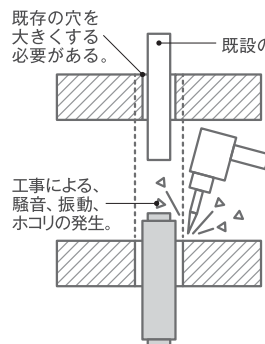
一般的に腐食に対して強いといわれていますが、腐食性ガスにより、管頂部分に穴があくことがあります。



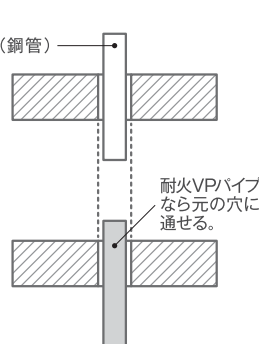
配管施工方法

更新工事に用いる配管材は、「耐火VPパイプ」または「耐火二層管」の2種類。どちらも塩ビ製のため耐食性に優れています。耐熱性については、両配管とも最高使用温度は60℃までの設定となっています。耐火性能を比べた場合、「耐火二層管」はモルタル層にクラックが入り燃えてしまいますが、「耐火VPパイプ」はスラブ内で管が閉塞することで防火性能を発揮します。施工法では、「耐火二層管」の場合、既存の排水管が通っている穴を大きくする工事が必要となります。

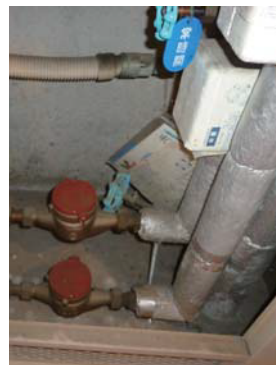
●耐火二層管



●耐火VPパイプ※



Before (既設排水管)



After (耐火VPパイプ)※



※積水化学工業(株)製

※本資料は、マンションの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。